

心に残る文化財子ども塾 邑南町立阿須那小学校

1. 活動の概要

6月21日(金)、邑南町立阿須那小学校で、『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに、邑南町教育委員会の職員から、邑南町内には遺跡がどれだけあるのか、どんな種類の遺跡や古墳があるのかクイズを交えながら話を聞きました。また、周辺の遺跡から出土した土器などを見ながら説明を受けました。邑南町には900箇所以上の遺跡があること、羽須美支所や保育園の場所から石棺が出ていること、邑南町からも鏡が出土していることを学びました。

次に、鏡について、説明を受けました。鏡にはいろいろな文様があること、鏡は鋳型に溶けた金属を流し込んで作ること、鏡は姿を写すだけではないことなどを聞くと、児童たちは驚いていました。

続けて、資料や金属鏡作りセットを見ながら、鏡の作り方の説明を受けて、鏡作りに挑戦しました。3～4人で一組となり、役割を決めて低融点金属を溶かし、鋳型に流し込み、冷えた所で鋳型をばらしました。鏡の文様が鮮明に出ていることに、児童は驚嘆の声を上げていました。児童は鋳型から取り出した鏡を一人一個、手に持ち磨き始めました。姿が写るまで思うように磨けず、児童達は苦勞していました。予定の終了時間が迫る中、苦心しながら鏡を磨きました。最後まで熱心に鏡作りに取り組むことができました。

最後に、鏡作りの難しさを実感しながら、友達と一緒に古代衣装を着ながら記念撮影を行いました。

授業を終えた児童たちは、ふるさとの歴史や身近にある遺跡への興味が高まった様子でした。

2. 活動の様子

1) 古代の邑南町について学ぶ



学校周辺にはどれだけ遺跡があるのかな？

2) 古代体験活動～金属鏡作り～



みんなで協力しながら、体験しました



がんばって磨きました



慎重に溶けた金属を流し込みました

3. 子ども塾を終えて

1)子ども達から…

- ・邑南町には約 1000 もの遺跡があることを知ってびっくりした。
- ・自分たちの周りにもたくさん昔の物があると言われたからすごいと思った。
- ・金属鏡の表面を磨くのが楽しかった。
- ・もっと長い時間でやりたい。
- ・鏡が自分を映した最初の時が一番心に残った。
- ・金属鏡を鏡にするためにすごくたくさん磨いて、少し顔が見えたのでよかった。
- ・邑南町にある、見つかってない遺跡を探してみたい。
- ・近く古墳も見してみたい。
- ・勾玉作りなど別の体験をしてみたい。

2)担任の先生から…

- ・島根県、邑南町や羽須美地域の遺跡を取り上げていただき、教科書の内容が身近に感じることができた。
- ・地元で出土したものを見たり、触ったりできるのがよかった。
- ・体験セットの事前準備など、とてもスムーズに作業ができました。

3)埋文センターから

普段の授業では自分たちの住む地域の歴史について知る機会は少ないと思います。今回の出前授業で、住んでいる地域には、遺跡がたくさんあることを知り、地域や歴史に対する興味や意欲が高まった様子が意見発表やアンケート結果から伝わってきました。

また、鏡作り体験では、溶けた金属を鋳型に流し込む作業が難しかったようです。また、表面を磨く作業は児童たちにとって、簡単そうに見えてかなり時間がかかる難易度の高い作業でした。しかし、最後まで集中して取り組んでいました。体験をとおして古代人の技術や苦勞などに思いをはせている様子でした。

これからも自分で調べたり大人に聞いたりしながら、自分達の住む地域の歴史に関心や誇りを持ち続けてほしいと思います。